

勝山市平泉寺町 - 里山・ため池群・山ぎわの水田 -



山や森に囲まれた農地



斜面にある水田

選 定 理 由

・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 34種（面積約580ha）

自然の概要

平泉寺境内の社叢林をはじめ、周辺の森林にはスギや広葉樹の大木が多く、アオバズクや樹洞を利用するムササビなどが生息しています。また、ため池が多く、山に囲まれた水田とともに生物にとって良好な水辺環境となっているため、マルガタゲンゴロウやゲンゴロウなどの水生昆虫も生息しています。

保全すべき 主な環境

巨木林、雑木林、ため池、山田（山ぎわの水田および休耕田）

自然保護関係 法の指定

奥越高原県立自然公園（一部）、白山国立公園（一部）、平泉寺鳥獣保護区（一部）

もっと詳しく 知りたい人へ

福井県のすぐれた自然植物編,p80[平泉寺の社叢林] ぶくいの巨木,p26[平泉寺の菩提林（スギ林）]

該当地の位置



里の生き物紹介 アオバズク（フクロウ目フクロウ科）

全長30cm前後の中型のフクロウ類で、大きい樹木のある林、社寺林、公園、庭園などの木の樹洞に巣を作りますが、最近では、大木が少なくなり樹洞も減っています。

食べ物、主にセミ、甲虫、チョウ、ガなどの昆虫ですが、カエルや小鳥も食べます。

保全すべき環境に生息・生育している生物



アオバズク
県域絶滅危惧 類
大径木林などに夏鳥として渡来し、主に樹洞を利用して繁殖



ゲンゴロウ
県域準絶滅危惧
水生植物がある池や湿地・休耕田に生息



ジュンサイ
県域準絶滅危惧
腐食栄養または貧～中栄養の湖沼やため池に生育



マルガタゲンゴロウ
要注目
水質や環境の良好な溜め池などに生息



ムササビ
樹洞のある大径木林に生息